

北杜市在宅医療・介護連携推進会議委員委嘱式及び  
令和3年度 第1回北杜市在宅医療・介護連携推進会議 議事録

開催日時 令和3年10月29日（金） 19時00分～

開催場所 高根総合支所 2階大会議室

出席委員 8名（欠席者：飯塚秀彦委員、三井梓委員）

稲垣才子委員・堀内敏光委員・清水百合子委員・塚越暁美委員・清水良憲委員・清水毅委員・浅川成彦委員・津金永二委員

【オブザーバー1名：大久保弥生】

【事務局：八巻健幸市民部長・白倉介護支援課長・浅川健康増進課長・輿水保健指導監・須田介護予防担当リーダー・藤原介護保険担当リーダー・小泉保健師・中嶋保健師・大輪恭兵社会福祉士・佐藤社会福祉士】

傍聴人 0人

1 開会

2 委嘱状交付

3 市長あいさつ

4 委員・職員紹介

5 会長・副会長の選任

6 会長挨拶

7 協議

（1）事業の概要とこれまでの取組内容

（事務局より資料1の説明）

<質疑応答・意見>

委員：昨年度の作業部会での決定事項と本会議の関連性を教えてほしい。

事務局：多職種研修において、医療・介護という異なる分野の連携について、ハードルの高さを解消する目的で作業部会が立ち上がった。作業部会は北杜市を白州・武川地区、高根・大泉・長坂地区、明野・須玉地区の3圏域に分けて行われており、市民、医療・介護の従事者により、互いに在宅医療の連携を図るとともにその活動を周知していくことを目的としている。現在はコロナ禍で活動がストップしているが、収束状況を見ながら取組

みを再開していく。

3 圏域に分けた理由としては、それぞれの圏域内において訪問診療を行う医師がいることから医療面からの連携を考えやすいためである。「在宅医療・介護連携推進会議」とともに作業部会も同時に進んでいる形である。

委員：高校生向けの介護の魅力発信について。当事業所（明山荘 小規模多機能居宅介護事業所）では一昨年から北杜高校と連携し、認知症サポーター養成講座、アセスメント実習などの授業を行っているが、このように事業所と連携しながらやっていくのか、それとも北杜市として独自に取り組んでいくのか教えて欲しい。既に事業所としてノウハウがある場合は連携した方が良いと思うが、考えを聞かせてほしい。

事務局：地域包括支援センターとして、北杜高校からすでに介護講義の枠をもらっている。清水委員の取組については市にも情報が入っており、特に認知症施策についての取組の協力に感謝している。今年度については、まずは地域包括支援センターでの枠組みの中で実施し、普段介護について話す機会の少ないであろう高校生世代が、家庭で話題に挙げてもらえるよう、草の根活動からしていきたいと考えている。お言葉を大変心強く思っており、場合によっては明山荘さんと連携し、若者世代の介護職確保の視点で未来への投資として取り組んでいきたい。機会があれば見学させてもらい、協働していきたい。

## （2）PDCAのための指標設定について

（事務局より資料2、資料3の説明）

### <質疑応答・意見>

委員：目標としては在宅（等）死亡率を上げていくことになると思うが、その前段階として、「療養する方に寄り添うための『想いのマップ』」活用の指標もあるべきではないか。

事務局：『想いのマップ』については、どのような取組かを説明し、理解いただいた上で活用していただくことが重要と考えているが、コロナ禍の影響もあり、現段階ではそこに至るまでの普及啓発が進んでいない状況であるため、指標の項目には掲載していない。重要な項目ではあるため、今後データへの反映を考えていきたい。

委員：ACP（※アドバンス・ケア・プランニング：年齢と病期にかかわらず、成人患者と、価値、人生の目標、将来の医療に関する望みを理解し共有し合うプロセス）での評価は大変難しいと考えている。数値で表された目標値に対して、達成すれば満足度を一律に満たしているという捉え方ではなく、北杜市の目指す特殊性や、北杜市ならではの地域性と照らし合わせた時に実際はどうか、またその対象となる市民それぞれの人生をより希望に近づけられることが成果と考えれば、数値で管理するのではなくもっと柔軟にした考え方も良いのではないかと思うし、わかりやすさにも繋がると思う。

事務局：個人にとって、最終的にはどのような日々を過ごすのが望ましいのかという点で、指標で推し測る難しさを今回のマップ作成で痛感している。細かい数値だけにとらわれず、周囲の意見を取り入れながら、わかりやすいツール、方法などをお示ししていきたいと考えている。

(3) 在宅療養者のための総合情報冊子の作成について

(事務局より資料4の説明)

<質疑応答・意見>

なし

(4) その他

事務局：今後のスケジュールについて、来年2、3月頃に2回目の会議開催の予定である。コロナの状況によっては、書面会議になる可能性もあることをご了承いただきたい。

(事務局より、当日配布資料：『北杜市 新型コロナウイルス感染症発生時の介護支援事業所間支援フローチャート』(地域包括支援センター作成)について説明)

<質疑応答・意見>

委員：居宅介護支援だけが対象か。他市町村の新型コロナウイルス集団感染発生の例(障害施設)にあるように、介護職員が足りなくなってしまった場合の支援について教えて欲しい。

事務局：本フローチャートはケアマネジャーのみの支援システムである。地域包括支援センターで施設までの支援となると、人材確保について施設間で協力いただかなければならず、現時点での実施は難しい。なお、山梨県においては特別養護老人ホームなどに対し、県のホームページで協力体制を示されているようだ。

以上

議事録署名委員

---

議事録署名委員

---